

業務用製氷機 取扱説明書



冷凍庫・冷凍/冷蔵ストッカーレンタル専門店



〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL: 027-289-6080

FAX: 027-289-6166

冷凍庫・冷凍/冷蔵ストッカー専門店ホームページへアクセス
する場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



目次

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください.....	1
【初期設置手順】給排水ホース接続.....	3
メーカー取り扱い説明書	5~44
返却時の梱包方法.....	45
据付工事を水道会社に依頼した場合の返却方法.....	50
梱包時 PP バンドの使用法.....	51

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください

スコップ×1

ホースバンド×3

マイナスドライバー×1

エアーポンプ×1



野外使用に関する注意点

業務用製氷機を屋外で使用される場合はテントなどの直射日光をさえぎれる設備の下で使用してください。

また雨天時や湿度が非常に高い場合には屋外では使用しないでください。故障の原因となります。

周囲が 0℃以下になる環境で使用する場合の注意点

周囲温度が 0℃以下になる環境で製氷機を使用する場合、下記の使用方法を守って下さい。下記の使用方法を守らずに製氷機が故障してしまった場合、修理代をいただきます。

1. 電源を切り、長時間製氷機を使用しない場合、必ず水抜きを行ってください。水抜きを行わないと給水管が凍結し、故障してしまうことがございます。
2. 庫内の氷がいっぱいになり、さらに長時間、氷が消費されない状況の場合、製氷機の電源を切り水抜きを行ってください。長時間製氷作業が行われないと、電源が入ってたとしても給水管の水が凍り、製氷機が故障してしまうことがございます。

※水抜きの方法は、取扱説明書の「返却時の梱包方法」を参照してください。

【初期設置手順】給排水ホース接続

製氷機を使用するには、給排水ホースを製氷機に接続する必要があります。その手順を解説していきます。

1		・ 任意の長さの ー 給水用ホース×1 ー 排水用ホース×1 を準備して下さい。 ※当店より、高機能ホースを購入された場合は、任意の長さでホースを切ってください。 【給水用ホースの長さ】 水道の蛇口から製氷機設置場所までの距離より長くする 【排水用ホースの長さ】 製氷機設置場所から排水場所までの距離より長くする ※傾斜のない場所に排水用ホースを置く場合、排水用ホースの長さは、2m以下にしてください。水が逆流することがあります。
2		・ 給水用ホースを蛇口に取り付け、マイナスドライバーでホースバンドをきつく締めてください。 
3		・ 給水用ホースを製氷機に取り付け、マイナスドライバーでホースバンドをきつく締めてください。 

4		・排水用ホースを排水口に取り付けてください。 ※排水用ホースは、一般的な内径 15mm ホースを使用していれば、ホースバンドでとめる必要は、ございません。ホースのサイズが合わない場合や水漏れがどうしても心配な場合のみご使用ください。 ※排水ホースをホースバンドでとめる際には、きつく締めすぎないでください。プラスチックなので潰れたり、割れたりしてしまう可能性があります。
5		・排水ホースは排水口より低くしてください。排水ホースが排水口より高い位置にくると、水が逆流して庫内が水びだしになってしまいます。 ※電源を入れているときは、写真のようにしないでください。
6	これで、給排水ホースの接続は完了です。製氷を行ってください。 (メーカー取り扱い説明書の13ページを参照)	

HOSHIZAKI 全自動製氷機

IM-25M,35M,45M,55M,65M,55M-Q
LM-250M,350M



取扱説明書



IM-65M

このたびは、ホシザキ商品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございました。

●この商品を安全に正しく使用していただくために、
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり
十分に理解してください。

●お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用
ください。

●保証書を必ずお受け取りください。

本文中のイラストは実際の製品・部品と異なることがあります。

も く じ

ご使用の前に

重要なお知らせ	2
安全上のご注意	4
■PLラベル(警告)の貼り付け位置	
各部のなまえとその働き	8
■操作パネル	
付属品・オプション	10
お使いになる前に	11
■据付工事終了時の確認	
■運転前の確認	

運転・停止のしかた

運転のしかた	12
■運転の手順	
■フロントカバーの取り外し	
■自動製氷	
■氷穴サイズの変更	
■断水するとき	
停止のしかた	16
■停止の手順	
■水抜き	

お手入れと点検

お手入れと点検	18
■サービスマンによる安全点検のおすすめ	
■点検・交換時期目安	
■お手入れの概要	
■毎日のお手入れ	
■1週間に1回のお手入れ	
■1ヶ月に2~3回のお手入れ	
■1ヶ月に1回の点検	
■1年に1~2回の点検	
■消耗品・定期交換部品	
長期停止	23
アフターサービス	24
■保証書(ホシザキ販売会社発行)	
■補修用性能部品の保有期間	
■修理を依頼されるとき	
■ネームプレートと貼り付け位置	
■保証とサービス	

知っておいてください

修理を依頼される前に	26
■動作の異常	
■エラーメッセージ	
仕様	29
■仕様	
■外形	
お手入れガイド	30

据付工事説明書(販売・工事会社用)

重要なお知らせ

■ 食品衛生法に基づく食品等事業者の法的責務

食品衛生法により、食品等事業者は自らの責任において食品の安全性を確保するよう求められています。製品の安定した性能維持のために毎日の点検・清掃を行い、衛生的にお使いください。

■ フロン回収について

フロン回収破壊法により、業務用冷蔵庫、製氷機、ショーケースなどの業務用冷凍空調機器を廃棄する場合は、都道府県知事の登録を受けたフロン回収業者にフロン回収を依頼し、製品使用者がその費用を負担することが義務付けられています。みだりにフロン類を放出した場合、罰則が適用されます。

■ お客様の個人情報に関するお取り扱いについて

ホシザキ電機株式会社およびホシザキグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 当社は、お客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者への開示・提供はいたしません。
 - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
 - ・法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・その他正当な理由がある場合
3. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
お客様の個人情報に関するお問い合わせは、裏表紙に記載のご相談窓口をお願いします。

■ 商標または登録商標について

この取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 移設・廃棄・譲渡について

- この全自動製氷機 I Mシリーズ（以下「製品」）は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での規格などの適用・認定などは実施していません。この製品を国外へ持ち出し、使用した場合、事故などによる補償の問題が発生することがあっても、当社は、直接・間接を問わず、一切の責任を負いません。
- この製品を移設する場合は、専門業者が裏表紙に記載のご相談窓口にご相談ください。据付不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- この製品を廃棄する場合は、専門業者が最寄りのホシザキ販売会社にご相談ください。不法投棄すると、罰則が適用されます。また環境破壊の原因にもなります。
- みだりにフロン類を放出した場合、罰則が適用されます。
廃棄・整備するときは、第 1 種フロン類回収業者に回収を依頼してください。（第 1 種特定製品）
- そのまま放置すると、幼児などがドアで手をはさんだり、ケガする原因にもなります。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者に正しくお使いいただくため、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めて渡してください。また、添付されているすべてのもの（保証書、付属品）を、新しい所有者に渡し、転売（または譲渡）した側は、一切の複製物を保持しないでください。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者を裏表紙に記載のご相談窓口にご連絡ください。

■ 使用目的・用途について

- この製品は、水から氷を作る自動製氷機です。それ以外の用途に使用しないでください。
- この製品は、業務用として作られています。家庭用には使用しないでください。
- 事故を防止するため、本来の使用目的以外の製品の使用やこの取扱説明書に記載している以外の運転・保守作業はおやめください。

■ 取り扱い上の注意

- 当社は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、製品を改造・乱用・誤用したり、あるいは運転・保守作業にあたり、通常払うべき注意または用心を怠って生じた損害ならびに傷害に対しては一切責任を負いません。
- 当社は、この製品の取り扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、すべての危険を取扱説明書や製品に貼り付けている PL ラベルで伝えることはできません。事故を防止するため、製品の運転・保守作業を行う場合は、この取扱説明書や PL ラベルに記載の指示事項だけでなく、十分気を付けてください。
- 製品の性能、故障および耐久性は、日常の取り扱いや整備によっても変わります。
- 氷を食品としてご使用になる場合、製氷機を衛生的に保つため、日常の管理、点検が重要です。製氷機を長時間ご使用になりますと、温度、水質などの使用環境と経年変化により、水垢やカビ、さび、塗装やメッキ面の劣化剥離などが氷に混入することがあります。ストッカー内は、日常のお手入れにより、清潔に保ってください。また、お手入れや使用中に、ストッカーの底や氷に異物を発見されましたら、ホシザキ販売会社に点検をご依頼ください。(有料)
- この取扱説明書は、日本語を理解できる人を対象に作成されています。管理者は使用される方に対して、安全・操作指導を徹底してください。
- 管理者は、この製品を使用される方が代わった場合には、この取扱説明書を理解させて、かつ安全・操作指導してください。

■ 取扱説明書について

- この製品には、設計上の対策や安全装置によって除去できないものについては、警告文として情報を提供しています。
- この取扱説明書の内容は、製品改良により、予告なく変更する場合があります。
- この取扱説明書に記載されている図は、実際の製品とは異なることがあります。また、図の一部は、製品内部の説明を容易にするために、省略していることがあります。
- この取扱説明書は当社が著作権を有しています。この取扱説明書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も当社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、速やかに最寄りのホシザキ販売会社にご注文ください。取扱説明書のない状態での使用は、事故発生の原因となります。
- より詳しい情報を必要とする場合やご質問がある場合は、最寄りのホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 保証書について

- 保証書はホシザキ販売会社で発行します。
必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。

■ 地球温暖化防止対策への取り組み

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロンを回収する必要があります。
冷媒を使用している製品に「フロン見える化」ラベルを貼り、冷媒の地球温暖化に与える影響や廃棄時のフロン回収率の向上をうながしています。



(貼付けラベル例)

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

人身事故、物的損害および製品本体の損害に関する警告表示

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をいいます。

 警告	誤った取り扱いをしたときは、死亡、後遺症などの重大な被害の可能性があることを意味します。
 注意	誤った取り扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。
使用上の注意	誤った取り扱いをしたときは、製品が故障する可能性があることを意味します。
お知らせ	製品本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。

衛生に関する警告表示

 衛生	誤った取り扱いをしたときは、健康障害が発生する可能性があることを意味します。
---	--

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	(例)	 分解禁止	 接触禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○ の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)	 プラグを抜く	 アース線接続	強制（すること）を示します。 具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)	 感電注意	 手はさみ注意	注意を示します。 具体的な注意内容は、△ の中や近くに絵や文章で示します。

警告

ご使用前に

安全上のご注意



よく読む

この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解すること

ケガの原因になります。



専門業者

据付工事は専門業者に依頼すること
お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者による口種接地工事が必要です。)



専用電源

電源は専用コンセントを使用すること

延長コードの使用やタコ足配線をする、感電や発熱、火災の原因になります。差し込み口が2つ以上ある場合でも、同時に使用しないでください。



専用電源

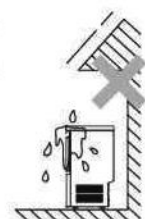
電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものをのせたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

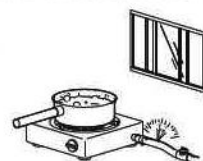
ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチ(漏電遮断器)を操作しないこと
感電の原因になります。



ガス栓閉

周辺のガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること

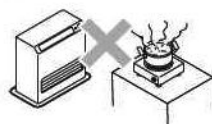
ガスが漏れた状態で電源プラグを抜くと、火花により引火爆発します。



熱器具禁止

熱器具(ガスコンロなど)をのせたり、熱器具を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして、火災の原因となります。



禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



警告



水ぬれ
禁止

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、さび、故障の原因になります。

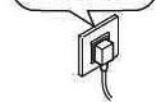


点検掃除

電源プラグの刃の取付面に付着したほこりはふき取り、確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

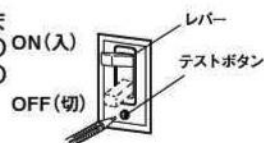
ほこりを取る



漏電遮断機能は月に1回動作確認すること

動作点検

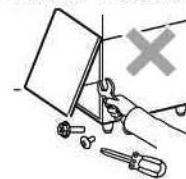
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



改造禁止

絶対に改造は行なわないこと

改造を行いますと、水漏れや、感電、火災の原因になります。



連絡

長期間、製品を止めていたあと、製品を再び動かすときは、ホシザキ販売会社に連絡すること

お客様自身で製品を再び動かすのはおやめください。感電などの原因になります。



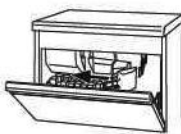
衛生



日常点検

氷を衛生的にご使用いただくために、日常の管理、点検を行うこと

水質などの周囲環境や経年劣化により、水垢やカビ、サビの発生、塗装やメッキ面の劣化剥離などが発生し、氷に混入することがあります。



■ PLラベル(警告)の貼り付け位置

- この製品には、正しく使用していただくため、PLラベルが貼付してあります。よく読み、これらの注意に従ってください。
- PLラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。PLラベルはホシザキ販売会社にご注文ください。
- 汚れた場合は、きれいに拭き取り、いつでも読めるようにしてください。

サニテーションラベル 部品コード 253344L01

△警告

ケガのおそれあり
鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

ケガのおそれあり
鋭い刃物を傷めたり、壊したりしないこと。鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。

■水を飲むとき、お使いいただくために

●水を飲むときは、清潔な手で専用スコップを使ってください。

●ストッカーの扉は閉じたままにすると、氷やゴミやゴミが溜まります。水を飲むたびに扉を開けてください。

●ストッカーの扉を開けたまま、氷やゴミの溜まりを掃除してください。

●ストッカーの扉を開けたまま、氷やゴミの溜まりを掃除してください。

■日常のお手入れ

●前面のガラスは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●前面のガラスは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

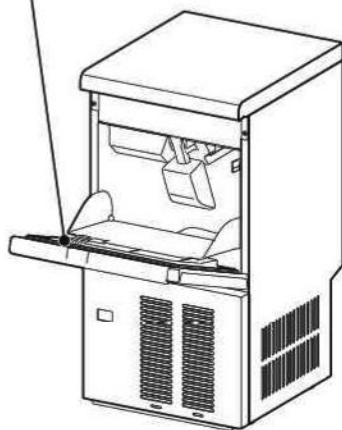
●前面のガラスは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

■スコップ・ハンドルは毎日清掃してください。

●スコップ・ハンドルは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●スコップ・ハンドルは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●スコップ・ハンドルは、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。



ラベル/インストラクション 部品コード 369932L01

△警告

ケガのおそれあり
鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

ケガのおそれあり
鋭い刃物を傷めたり、壊したりしないこと。鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。

■デジタル表示の故障

●デジタル表示の故障は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●デジタル表示の故障は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●デジタル表示の故障は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

■エアフィルターの清掃

●エアフィルターの清掃は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

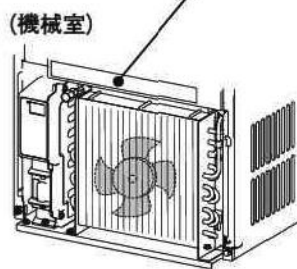
●エアフィルターの清掃は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

●エアフィルターの清掃は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

△警告

ケガのおそれあり
鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。取り扱いにはご注意ください。

ケガのおそれあり
鋭い刃物を傷めたり、壊したりしないこと。鋭利な部品は、清掃時に傷や切り傷を発生させることがあります。



PLラベル/カンデン 部品コード 471594L01

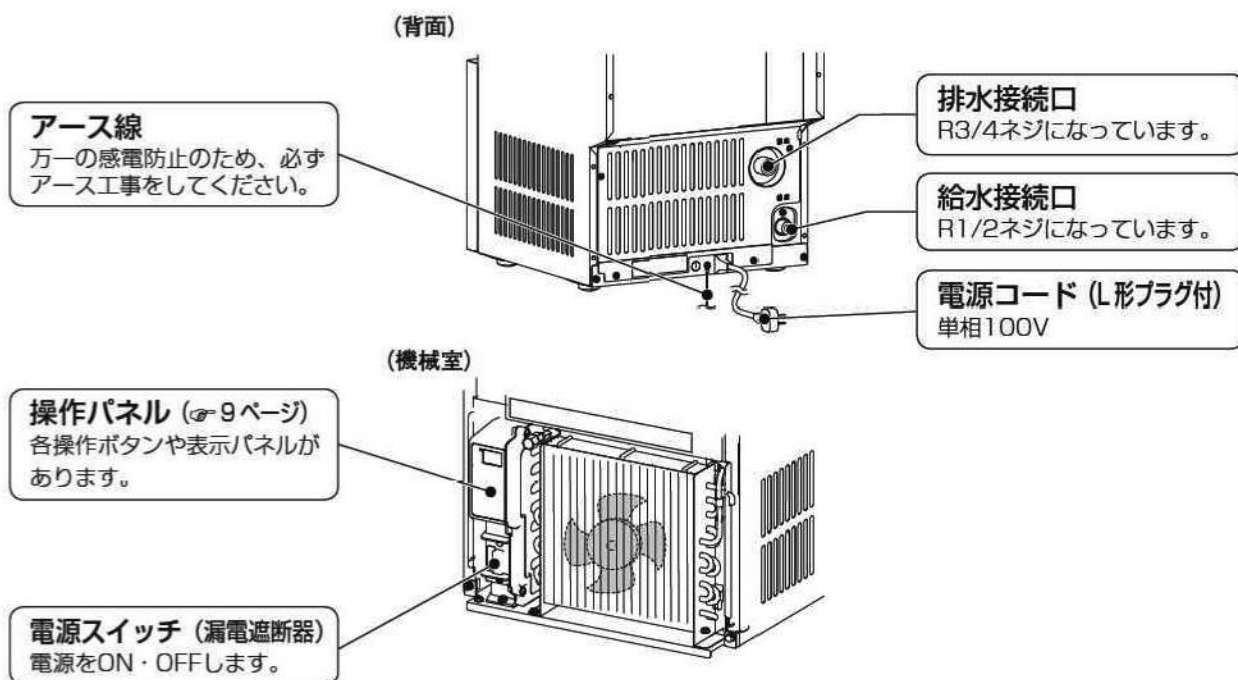
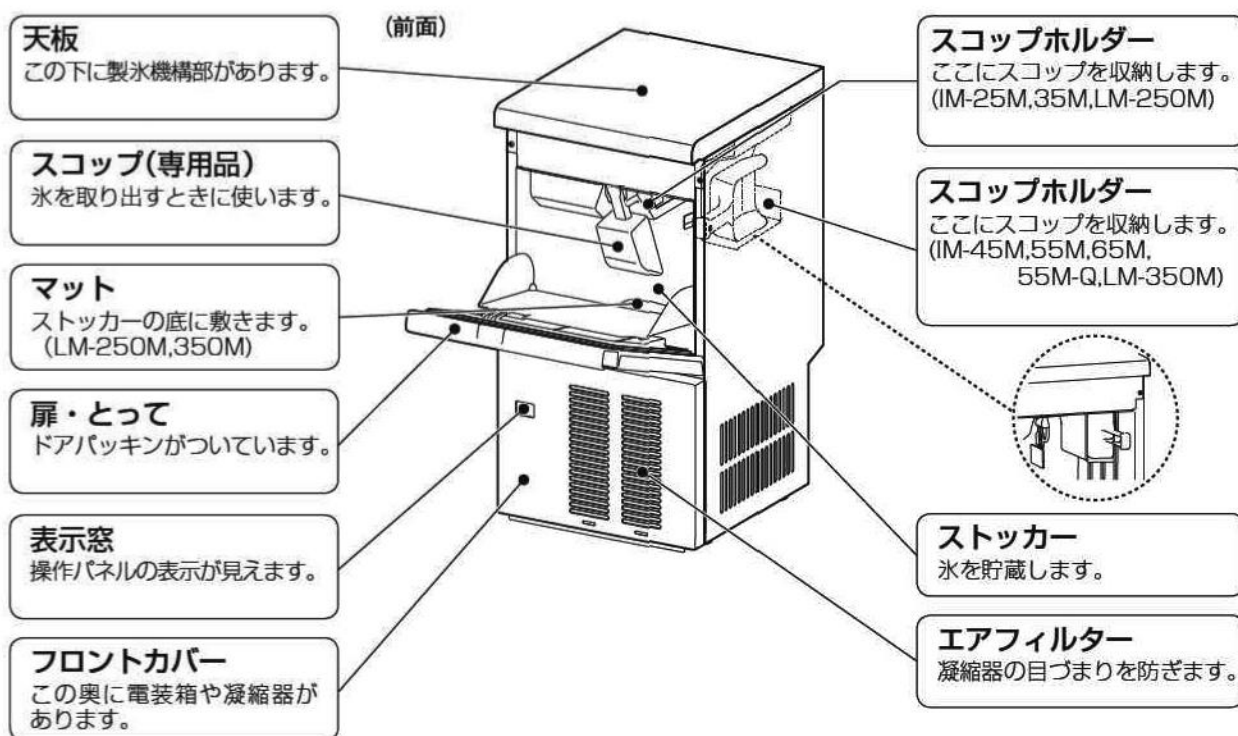
(背面)

△警告

感電のおそれあり
アース工事をすること。アース線はガス管、水道管、配管、電線のアース線に接続しないこと。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

各部のなまえとその働き

●この製品は、水から氷を作る自動製氷機です。



■ 操作パネル

①表示パネル

- 機械の運転状態を表示します。

内容	表示状態
電源「入」	 on が点灯
製氷中	製氷段階をバー点灯数で表示  ▶  ▶  約 0 ～ 30% 約 30 ～ 60% 約 60 ～ 100%
除氷中	 バー 6 個点滅
貯氷完了	 中央のバー 2 個点灯
氷穴選択中	   穴小 穴中 穴大
機械の異常・警報	 P28「修理を依頼される前に」をご覧ください。

②リセットボタン

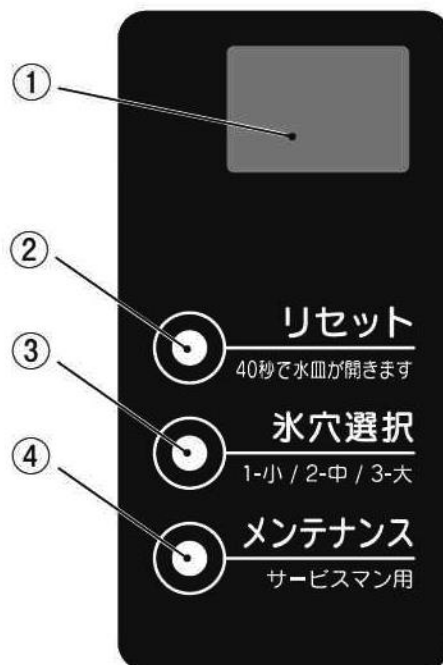
- ボタンを押すと除氷中になり、約 40 秒で水皿が開き氷が落下します。

③氷穴選択ボタン

- 氷の中央部のくぼみの大きさを変えることができます。
P 14「氷穴サイズの変更」を参照してください。

④メンテナンスボタン

- サービスマン専用です。使用しないでください。



ご使用の前に

各部のなまえとその働き

付属品

取扱説明書（1冊） 部品コード L1M001-07	
スコップ（1個） 部品コード 2H8264P01 氷の取り出しに使用します。 IM-25M,35M のみ	
スコップ（1個） 部品コード 1H4123P01 氷の取り出しに使用します。 IM-45M,55M,65M,55M-Q LM-250M,350M のみ	

オプション

レッグ（4本） H=100 部品コード 446729-01 IM-25M のみ		レッグ（4本） H=50 部品コード 446837-01 IM-35M,45M,55M,66M IM-55M-Q LM-250M,350M のみ	
ストレーナー（1個） 部品コード 311147A01			

お知らせ

- オプションをご注文の際は、ホシザキ販売会社に依頼してください。
- （ ） カッコ内の数字は必要数です。

お使いになる前に

■ 据付工事終了時の確認

据付工事終了時の確認は、お客様が立合いのうえ、専門業者と一緒に行ってください。
据付工事が終了しましたら、正しい工事が行われたことを「据付工事説明書」に従って確認してください。
(☞ 31 ページ)

■ 運転前の確認

使用上のご注意

- 使用温度範囲は周囲温度 1 ～ 35℃、水温 5 ～ 30℃でお使いください。周囲温度が 35℃を超える場合は、換気扇などで換気をしてください。
- 給水圧は 0.05 ～ 0.78MPa の範囲内で使用してください。
- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。
- 直射日光があたらないようにしてください。
やむをえず直射日光のあたる場所で使用するときは、日除けをつけてください。
- 本製品の空気の吸込み口や吹出し口をふさがないでください。
冷却性能の低下や故障の原因になります。
- スコップはストッカー内のスコップホルダーに収納してください。
- 水道水をご使用になる場合でも、水質によっては製氷機内の水路にスケールが付着して製氷量が少なくなったり、故障の原因になります。
水質の目安としては「硬度：50mg/L、シリカ：30mg/L」以下の水道水をご使用ください。

上記目安値を超える場合は、水質に適した水処理器の取り付けが必要となります。水処理専門業者、またはホシザキ販売会社にご相談ください。

お知らせ

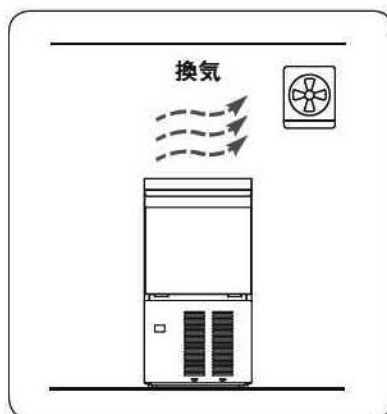
- ストッカー内は清掃してありますが、念のために、ご使用前にもう一度清掃してください。「お手入れと点検」をご覧ください。(☞ 18 ページ)
- お使いはじめや、1 週間以上使わなかったときは、庫内がプラスチックの臭いがしたり、氷が臭うことがありますが害はありません。これらの臭いは運転を続けるとしだいに消えていきます。衛生上最初の氷は捨ててください。
- 配管はお客様ごとに配管状態が異なるので、水道の元栓、給水バルブ、水抜きバルブなどの位置、操作方法については、事前に確認してください。

氷を衛生的にご使用いただくために

氷を食品としてご使用になる場合、製氷機を衛生的に保つため、日常の管理、点検が重要です。製氷機を長期間ご使用になりますと、温度、水質などの使用環境と経年変化により、水垢やカビ、サビの発生、塗装やメッキ面の劣化剥離などが氷に混入することがあります。ストッカー内は、日常のお手入れにより、清潔に保ってください。また、お手入れや使用中に、ストッカーの底や氷に異物を発見されましたら、ホシザキ販売会社にご依頼ください。(有料)

製氷機について

製氷機は、水道水を製氷機構部で製氷した氷をストッカー内に送り貯氷します。
ストッカー内で氷がいっぱいになると製氷工程を停止し、氷が使用されると製氷運転を開始して、常にストッカー内が氷でいっぱい状態になるように運転します。



運転のしかた

⚠ 警告



製氷機構部には、絶対に物や手を入れないこと

挿入禁止 製氷機構部が動いたとき、ケガの原因になります。



開いたストッカーの扉を強く押さえたり乗ったりしないこと

禁止 落下したり、製品転倒によるケガの原因になります。

⚠ 注意



電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと

禁止 感電やショートの原因になります。



氷が床に落ちたときは、すぐに氷を片付けること

氷除去 氷を踏みつけたとき、滑ってケガの原因になります。



扉の開閉は、とってをしっかりと握って行うこと

扉開閉 扉が急に開いてケガの原因になります。



空気の吸込み口や吹出し口に指や棒などを入れないこと

挿入禁止 内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。



扉を閉める時は、とっての上に指をかけること

手はさみ 注意 指をはさみ、ケガの原因になります。



排水管に詰まりが無いが、年に1～2回点検を行うこと

排水点検 排水管が詰まると、漏水から周囲（家財など）をぬらす原因になります。



足で扉を閉めないこと

禁止 破損の原因になります。

⚠ 衛生



手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

清潔 汚れた手で扱うと健康障害の原因になります。



扉は開けたままにしないこと

開放禁止 ゴミやゴキブリなどの侵入や雑菌の繁殖により、健康障害の原因になります。



ストッカーの中には氷と付属のスcoop以外のものは入れないこと

禁止 雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



scoopと扉は毎日、ストッカーは1週間に1回清掃すること

清掃 清掃しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

■ 運転の手順

お知らせ

- 製氷機の配管はお客様ごとに配管状態が異なるので、水道の元栓、給水バルブ、水抜きバルブなどの位置、操作方法については、事前に確認してください。
- 断水後は、配管に溜まった水を抜いてから運転してください。(P. 15 ページ)
- 周囲温度が 0℃ 以下になり、凍結の恐れがあるときは使用を止め、水抜きをしてください。

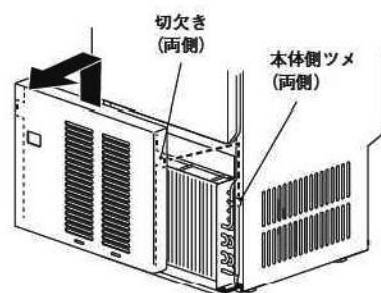
- 1 水道の元栓を開きます。
- 2 給水バルブを開きます。
- 3 電源コードのプラグを専用コンセントに確実に差し込みます。
- 4 フロントカバーを外します。
- 5 電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にします。
電源を入れると、表示パネル部に「on」が点灯し、約 3 分後に機械が運転を始め、自動製氷します。



- 6 フロントカバーを元どおりに取り付けます。

■ フロントカバーの取り外し

- 1 フロントカバーを 1cm くらい上にずらして手前に引きます。
- 2 取り付けるときは、本体のツメにフロントカバーのツメ穴を合わせて下にずらします。



■ 自動製氷

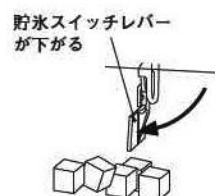
お知らせ

- 製氷後の氷は、ストッカー内で少しずつ溶けてざらざらして透明度が下がりますが、飲物の中に入れますと、きれいになります。

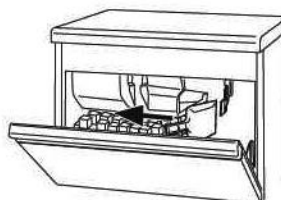
- 1 ストッカー内が氷でいっぱいになると、自動的に製氷を停止します。表示パネル部は貯氷完了表示に変わります。



- 2 ストッカー内の氷が減ると、自動的に製氷を開始します。



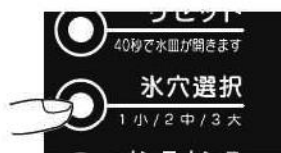
- 3 氷がいっぱいになってきたら、ストッカー内の左側へ氷をよせます。より多くの氷を貯めることができます。



■ 氷穴サイズの変更

- 出荷時の設定は氷穴小「1」にセットしてあります。
- 氷穴大「3」に設定すると製氷時間が短くなり、短時間でたくさんの氷が必要な時に便利です。

- 1 操作パネルの氷穴選択ボタンを押します。現在の設定値が表示されます。



- 2 氷穴選択ボタンを続けて押します。順に設定値が変わります。



■ 断水の時



断水時
閉弁

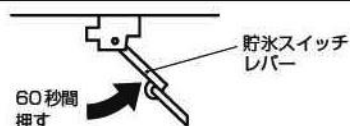
断水の時、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にし、給水バルブを閉めること

開けておくと、通水時に「赤水 *1」が発生し、不衛生な氷ができる原因になります。

注）*1 黄褐色や赤褐色に濁ったさびを含んだ水

断水の時

- 1 給水バルブを閉じます。
- 2 フロントカバーを外してリセットボタンを押します。
「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。（[P.13](#) ページ）
- 3 扉を開けて、ストッカー内の右側奥にある貯氷スイッチのレバーを右へ約 60 秒間押します。
- 4 表示パネル部に「貯氷完了」表示が出たら、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。



断水終了後の再運転のしかた

お知らせ

- 断水が長時間（10 日間以上）続く場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

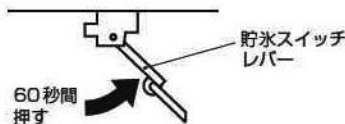
- 1 給水バルブが閉じていることを確認します。
- 2 水抜きバルブを開きます。
- 3 水道の元栓を開きます。
通水状態にして赤水が出なくなるまで排水します。
- 4 水抜きバルブを閉じます。
- 5 給水バルブを開きます。
- 6 電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にします。

停止のしかた

■ 停止の手順

お知らせ

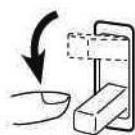
- 断水時は、下記 1 ～ 4 を行ってください。

- 1 給水バルブを閉じます。
- 2 フロントカバーを外してリセットボタンを押します。
「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。(P. 13 ページ)
- 3 扉を開けて、ストッカー内の右側奥にある貯氷スイッチのレバーを右へ約 60 秒間押します。

貯氷スイッチ
レバー

60 秒間
押す
- 4 表示パネル部に「貯氷完了」表示が出たら、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。

貯氷完了



OFF (切)
- 5 電源コードのプラグを専用コンセントから抜きます。
- 6 フロントカバーを元どおりに取り付けます。
「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。(P. 13 ページ)
- 7 ストッカー内の氷をすべて取り出して内外部をきれいに掃除し、充分乾燥させます。

■ 水抜きのかた

⚠ 注意



周囲温度が 0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは必ず水抜きをすること
配管の破裂により水漏れし、周囲の機器類を濡らす原因になります。

水抜き

⚠ 衛生



長期間（2 日以上）停止させるときは水抜きをすること
水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

水抜き

1 元栓を閉じます。

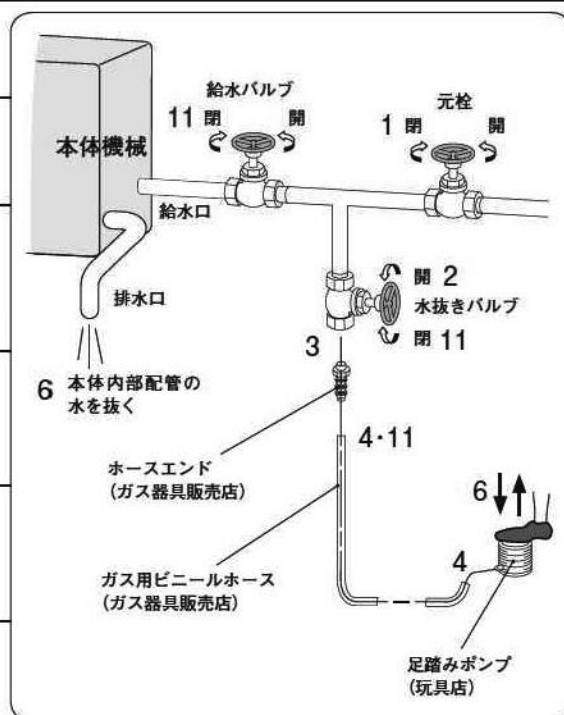
2 配管内の水抜きバルブを開いて管内の水を排水します。

3 水抜きバルブの排水口にホースエンドを取り付けます。
(ホースエンド：プロパンガス用 R1/2、ガス器具販売店にあります)

4 市販のガス用ビニールホースの両端にホースエンドと足踏みポンプを接続します。
(足踏みポンプ：玩具店にあります)

5 フロントカバーを外してリセットボタンを押します。「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。
(☞ 13 ページ)

6 約 15 秒後、足踏みポンプで給水口から空気を送り込んで、本体内部の水を抜きます。



7 リセットボタンを押し約 40 秒後に水皿が開いたら、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。

8 電源コードのプラグを専用コンセントから抜きます。

9 フロントカバーを元どおりに取り付けます。「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。(☞ 13 ページ)

10 ストッカー内の氷をすべて取り出して内外部をきれいに掃除し、充分乾燥させます。

11 ホースエンドを外し、給水バルブ、水抜きバルブを閉じます。

運転・停止のかた

停止のかた

お手入れと点検

⚠ 警告



電源を切る

お手入れや点検のときは、必ず運転を停止し、元電源を「OFF（切）」にすること

感電したり、機械が動いたとき、ケガをする原因になります。



連絡

電源スイッチ（漏電遮断器）が「OFF（切）」に作動した場合には、ホシザキ販売会社へ連絡すること

無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

修理をするときは、ホシザキ販売会社に依頼すること

お客様での修理は、行わないこと。異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



連絡

異常時（焦げ臭いなど）は元電源を「OFF（切）」にして、すぐにホシザキ販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理しないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

⚠ 衛生



よく読む

逆性石けん、次亜塩素酸ソーダなどを使用する場合は、その用法・用量、および使用上の注意をよく読み、十分に理解してから使用すること

健康障害の原因になります。



清潔

手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

汚れた手で行うと健康障害の原因になります。

■ サービスマンによる安全点検のおすすめ

製品のご使用に支障がなくても、保証期間を過ぎてご使用されている場合は、水かかりや汚れによる電気部品の絶縁劣化、経年変化などにより、感電、火災、水漏れなどの原因になることがあります。ホシザキ販売会社に点検をご依頼ください。また、水質などの周囲環境や経年劣化により、水垢やカビ、サビの発生、塗装やメッキ面の劣化剥離などが発生し、氷に混入する場合がありますので、ホシザキ販売会社に点検をご依頼ください。（有料）

点検内容

- 製品内部のほこりの堆積、水漏れ、汚れなど確認と対処
- 本体および使用部品の経年変化の状況など確認と対処
- 「点検・交換時期目安」の点検・交換項目の確認と対処
- 水経路の水垢、シリカ、石灰などの異物

■ 点検・交換時期目安

この製品を効率よくご使用いただくためには、定期的に点検・整備・交換が必要です。

点検は、運転開始後 1 年で点検、以降 6 ヶ月に 1 回（年 2 回）ホシザキ販売会社に依頼してください。（有料）製品を長期間使用すると、温度、水質などの使用環境と経年変化により、水垢やカビ、サビの発生、塗装やメッキ面の劣化剥離などが発生し、氷に混入することがあります。製品は、定期的なお手入れを行い清潔に保ってください。また、お手入れや使用中に、ストッカーの底や氷に異物を発見したら、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

■ お手入れの概要

使用上の注意

- 毎日のお手入れは、殺菌効果が得られる逆性石けん（塩化ベンザルコニウム）の使用をおすすめします。逆性石けん（塩化ベンザルコニウム）は薬局でお求めいただけます。
商品例：オスバン S（日本製薬（株））
- 次のようなものは使わないでください。
〈塗装面やプラスチック面を傷めるもの〉
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・たわし・など。
特に換気扇・レンジなどに使用する強力な洗剤。
〈錆の発生につながるもの〉
塩素系漂白剤など。
- 化学雑巾を使用の際は、その使い方に従ってください。
- お手入れは清潔なふきんを使用し、清潔な手で行ってください。

お手入れのしかた

- 1 「■停止の手順」に従って、運転を停止します。（[P. 16](#) ページ）

- 2 手を洗います。



- 3 清潔なふきんを用意します。



- 4 逆性石けん（塩化ベンザルコニウム）10% 液を、ぬるま湯（35℃～40℃）1L に、キャップ 2 杯（約 10mL）の割合で混ぜ、乾いたふきんにふくませて、隅々まで拭きこみます。



- 5 3 分後に、石けん分が残らないように水またはぬるま湯を含ませたふきんで拭き取り、そのあと清潔なふきんで水分を拭き取ります。

お知らせ

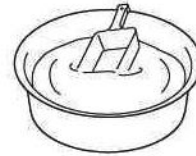
- 洗剤分が残っていると、金属、プラスチック面を傷める原因になります。

■ 毎日のお手入れ

スコップ

スコップは雑菌のつきやすいところですから、常に清潔にしてください。

次亜塩素酸ソーダを加えたぬるま湯（30～40℃）に3分以上つけ込み、その後、ソーダ分が残らないように水道水で洗い流してふきんで水分をふき取ってください。

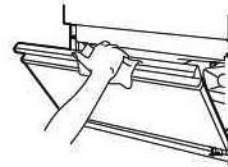


扉、とって

扉、とっては雑菌のつきやすいところですから、隅々まで掃除をして常に清潔にしてください。逆性石けん（オスパン S（日本製薬㈱））を入れたぬるま湯に含ませた布で拭いてください。

お知らせ

- やわらかいふきんにぬるま湯を含ませて汚れをふき取ってください。
- 扉はステンレスですが、お手入れをして常に清潔にしないとさびる場合があります。



使用上の注意

- 扉の表面に塗装がしてあります。傷つきますから市販のステンレスクリーナーは使用しないでください。
- プラスチック部品には殺虫剤をかけたり、油性のあるものを触れさせないでください。変形したり、割れたりすることがあります。

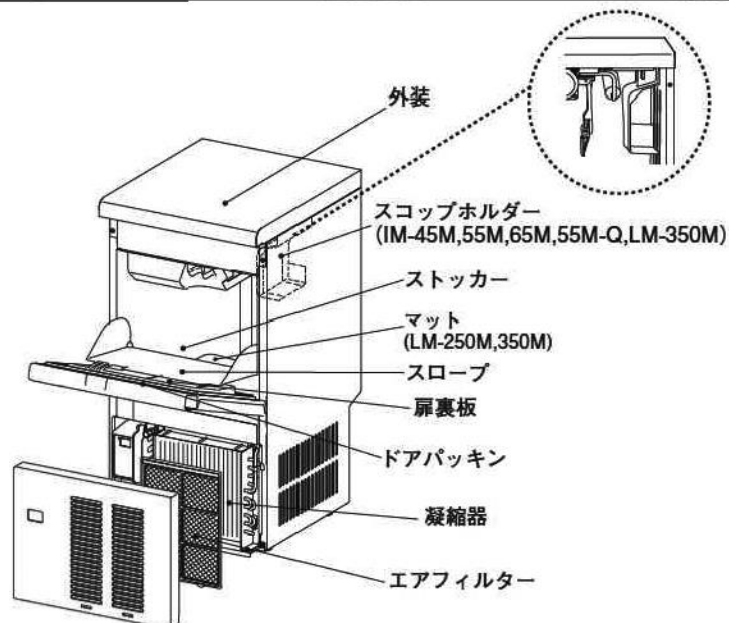
■ 1 週間に 1 回のお手入れ

ストッカー内のお手入れをするときは、中の氷を清潔な別の容器に移し替えて行ってください。

ストッカー、マット、スコップホルダー、スロープ、扉裏板、ドアパッキン、外装

お知らせ

- 扉の表面に塗装がしてあります。傷つきますから市販のステンレスクリーナーは使用しないでください。
- プラスチック部品には殺虫剤をかけたり、油性のあるものを触れさせないでください。変形したり、割れたりすることがあります。
- スコップホルダーは汚れが残らないように、隅々まで掃除をしてください。
- ドアパッキンは、汚れが付きやすいところですから隅々まで掃除してください。ドアパッキンは、はめ込み式ですので取り外して洗うことができます。

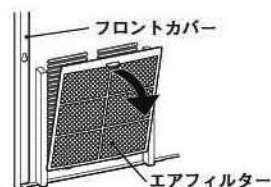


■ 1 ヶ月に 2 ～ 3 回のお手入れ

エアフィルター

- エアフィルターにゴミやほこりが付くと、正常な運転が出来なくなります。
- エアフィルターを外したまま運転しないでください。製品にほこりが入り、故障の原因になります。

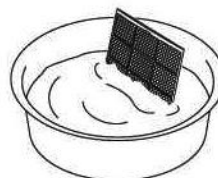
- 1 フロントカバーを外して、エアフィルターを手前に引き、持ち上げます。「フロントカバーの取り外し」をご覧ください。(P.13 ページ)



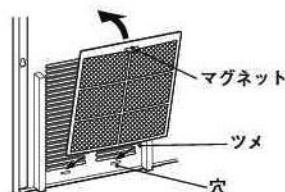
- 2 水またはぬるま湯に中性洗剤を入れて、ネットを破らないよう注意して洗い、水洗いしたあと十分に乾かします。

使用上の注意

- エアフィルターは、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。



- 3 エアフィルターの下側のツメをフロントカバーの穴に差し込み、上側のマグネットで吸着させます。



■ 1 ヶ月に 1 回の点検

漏電遮断器機能の点検

⚠ 警告



漏電遮断器の機能は月に1回、動作確認すること

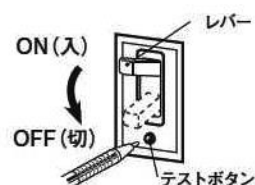
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

動作点検

フロントカバーを開けて、電源スイッチ（漏電遮断器）のテストボタンを、ボールペンなどの先で押します。レバーが「OFF（切）」に切り換われば正常です。

使用上の注意

- レバーが「切」に切り換わらない場合は、すぐにホシザキ販売会社にご連絡ください。



■ 1年に1～2回の点検

アース線・電源プラグの点検

調べるところ	処置方法
(1) アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？	異常の場合は、ホシザキ販売会社、または電気工業者に修理を依頼してください。
(2) 電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物がのったり、はさみ込まれたりしていませんか？	異常の場合は、すぐにホシザキ販売会社に修理を依頼してください。
(3) 電源プラグが専用コンセントに入っていますか？	他の機器と共用している場合は、専用コンセントにしてください。
(4) 電源プラグの刃と刃の取付面および専用コンセントにほこりがついていませんか？	掃除をしてください。

給排水管の点検

ストッカー内に氷の無い状態で、約2Lの水を入れて1分以内に排水できるか確認してください。
排水出来ない場合は、排水管内が詰まっている場合があります。

使用上の注意

- 排水管に詰まりが無いが、年に1～2回点検を行ってください。排水管が詰まると、漏水から周囲（家財など）をぬらす原因となります。



調べるところ	処置方法
(1) 給排水管の接続部より水漏れはありませんか？	給排水管が詰まると床に水があふれます。 水漏れや排水詰まりの場合は、すぐに製品を購入・設置した販売会社（専門業者）にご連絡ください。
(2) 給排水管が詰まっていますか？ 詰まると床に水があふれます。	
(3) 重いものなどに踏みつけられていませんか？	

■ 消耗品・定期交換部品

消耗品、定期交換部品はありません。

長期停止

⚠ 警告



電源を
切る

1週間以上使用しない場合は、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
ほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



密閉防止

製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、扉を密閉できないようにすること
幼児が閉じ込められる原因になります。

⚠ 衛生



水抜き

長期間（2日以上）停止させるときは水抜きをすること
水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

お知らせ

- 凍結の原因になりますので水抜きをしてください。（☞ 17 ページ）

1 「■停止の手順」に従って、運転を停止します。（☞ 16 ページ）

2 「■お手入れの概要」に従って、以下のお手入れをすべて行います。
（☞ 19 ページ）

- (1) 毎日のお手入れ
- (2) 1週間に1回のお手入れ
- (3) 1ヶ月に2～3回のお手入れ

3 再開するときは、「■運転の手順」に従って確認し、運転を始めます。
（☞ 13 ページ）

お手入れと点検

長期停止
お手入れと点検

アフターサービス

⚠ 警告



修理技術者以外の方は分解したり、修理しないこと
分解禁止 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



修理をするときは、ホシザキ販売会社に依頼すること
修理依頼 お客様での修理は、行わないこと。異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

修理・お取り扱い・お手入れ・転居などのご相談は、ホシザキ販売会社にお申し付けください。

■ 保証書(ホシザキ販売会社発行)

設置年月日(お買い上げ年月日)・販売会社名などの記入を必ず確認し、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

保証期間は、設置年月日より1年間です。

■ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。

お知らせ

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守制度のおすすめ

当社の保守制度へのご加入をおすすめいたします。これは定期的に点検整備を行い、常に安定した性能を維持して、ご使用いただくための制度です。詳細はホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるとき

「修理を依頼される前に」に従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチ(漏電遮断器)を「OFF(切)」にして、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(㊦裏表紙)

ご連絡いただきたい内容

- 機種(ネームプレートに記載)
- 製造番号(ネームプレートに記載)
- 設置年月日(保証書に記載)
- 故障状況(できるだけ具体的に)
- お客様名
- ご住所
- お電話番号

保証期間中の修理

保証書の規定に従って、ホシザキ販売会社が修理させていただきます。

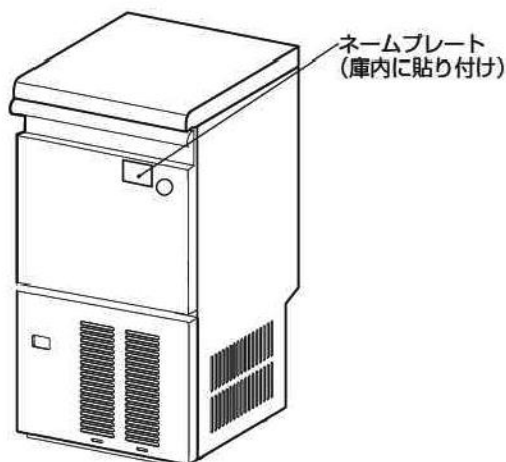
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間満了後の修理

保証期間満了後は、修理によって製品の性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

■ ネームプレートと貼り付け位置

この製品についてお問合せいただく場合は、このネームプレートに記載されている形式をお知らせください。



■保証とサービス

1 この製品には、保証書がついています

- (1) 保証書はホシザキ販売会社で発行します。必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。
- (2) 転居などで修理の依頼先がご不明の場合は裏表紙に記載のホシザキ販売会社にご相談ください。

2 保証修理について

以下は保証書と同一内容です。

1. 保証修理の内容

この保証は、保証書表記載のこの製品を構成する後記3.に記載する保証部品について、当社の責任により不具合が発生した場合に、この保証書に記載する期間と条件に従って、この無料修理（この無料修理を「保証修理」といいます。）をお約束するものです。保証修理は、部品の交換または補修により行います。なお、保証修理時に取り外した不具合部品は、当社の所有となります。

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。ホシザキ販売会社のサービスマンがお伺いした際、この保証書をご提示のうえ、保証修理をお申し付けください。保証書を提示されない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

3. 保証部品

この保証書に基づく保証の対象となる部品（保証部品といいます。）は、この説明書に記載する消耗品を除いたものです。

4. 保証期間

保証修理を受けられる期間（保証期間といいます。）は、保証書表記載のとおりです。なお、交換部品として新たに装着した部品についての保証期間は、この保証書の期間満了時までとします。

5. お客様にお守りいただく事項

お客様がこの製品の取扱説明書、この製品に貼付されたラベルその他の注意書きに従って、正しい使用・お手入れがなされている場合に、保証修理をいたします。これらが守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますので、ご承知おきください。

- (1) この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れ
- (2) 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備
- (3) この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換

6. 保証しない事項

- (1) 以下の現象等、不具合と認められないものは、保証修理いたしません。
 - 通常の使用損耗および経年変化により発生する現象（樹脂部品、塗装面、メッキ面等の自然退色・劣化・剥離等）
 - この製品の性能上問題がないことが一般的に認められている現象等（通常の運転音、振動、操作フィーリング等）

- (2) 以下の不具合は、外的要因によるものであり、当社の責任による不具合ではありませんから、保証修理いたしません。

- 地震・風水害・落雷等の自然災害、火災による罹災事故、公害・塩害・有毒ガス・薬品・異常電圧等を原因とした不具合
- 給排水管の破損、異物の詰りによる不具合
- 給水、給電が行われなかったことに起因する不具合
- お客様の故意・過失により生じた不具合
- ホシザキ販売会社以外の第三者が、修理または改造等したことによる不具合
- 不具合の原因が、この製品以外の部分にある場合の不具合
- 寒冷時における製品内の凍結による不具合
- 車両、船舶等の揺れ動く場所での使用による不具合

- (3) 以下の不具合は、適切な点検・整備・お手入れまたは正しい使用・管理等がなされていないことに起因するものですから、保証修理いたしません。

- 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備の未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れの未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合
- 通常の注意で発見・処置できずにもかかわらず、放置した事により拡大した不具合
- 当社の指定する部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことに起因する不具合

- (4) 保証修理以外に、以下の費用については、この保証書に基づいて当社が負担することはいたしません。

- この製品を使用できなかったことによる賠償費用
- 自らまたはホシザキ販売会社以外が修理した場合の修理費用

7. 別途費用

以下の費用については、別途、お客様の費用負担としてご請求申し上げます。

- (1) 保証修理を行うため、離島または離島に準ずる遠隔地に赴く場合の旅費（航空運賃・乗船運賃・宿泊費等）
- (2) 取扱説明書に記載する消耗品および定期交換部品の費用（作業費を含む）

8. 保証の発効

この保証は、機種、機番、設置年月日が記入されていることにより有効となります。

9. 保証の失効

この保証は、保証書に記載する保証期間が満了した時に、効力を失います。また、保証期間であっても、製品が日本国外に持ち出された時には、効力を失います。

10. その他

- (1) この保証は、日本国内においてのみ有効です。
- (2) この保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- (3) この保証書は、この保証によって、お客様の権利を制限するものではありません。

※ This warranty is valid only in Japan.

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思われたときは、以下の項目に従って調べてください。

なお異常があるときは、電源コードのプラグを抜いて、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(☎裏表紙)
修理は専門の技術が必要です。

お客様での修理は行わないでください。

■ 動作の異常

こんなときは	調べるところ	処置方法
氷がまったくできない	(1) 給水管が凍結していませんか？	凍結している場合は電源スイッチ（漏電遮断器）を押して氷が溶けるまでお待ちください。
	(2) 断水になっていませんか？	通水をお待ちください。
	(3) 水圧が低くなっていませんか？	水圧が低い場合は、ホシザキ販売会社にご連絡してください。
	(4) 給水バルブが閉まっていますか？	閉まっていたら開いてください。(☎ 13 ページ)
	(5) 停電ではありませんか？	通電するのを待ちください。
	(6) 電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	(7) 電源スイッチ（漏電遮断器）が「OFF（切）」になっていませんか？	「ON（入）」に変えてください。運転中に自動的に「OFF（切）」の位置になった場合は漏電の可能性があります。電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にして、ホシザキ販売会社にご連絡ください。
	(8) 表示パネル部に警報「E1」～「EC」が点滅していませんか？	「E1」～「EC」が点滅しているときは「■エラーメッセージ」を参照していただき対処してください。(☎ 28 ページ)
製氷量が少ない	(1) 周囲温度が 35℃以上になっていませんか？	換気扇などで換気して周囲温度を下げてください。(☎ 11 ページ)
	(2) 外部から熱気の影響を受けていませんか？	熱源を遠ざけてください。
	(3) 吸込み口、吹出し口の前面にものを置いていませんか？	ものを取り除いてください。
	(4) エアフィルターにゴミが詰まっていますか？	エアフィルターの掃除をしてください。(☎ 21 ページ)
床が濡れている	(1) 排水管が詰まっていますか？	ホシザキ販売会社にご連絡ください。
	(2) 排水管が折れ曲がってつぶれていませんか？	
	(3) 排水管が排水口より高くなっていますか？	
	(4) 排水管が下水管に直結されていませんか？	
異常音がする	(1) 床がしっかりしていますか？	弱い場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。
	(2) 据付が悪く、がたついていませんか？	アジャストボルトを調整してください。
	(3) 製氷機に何か触れていませんか？	接触しているものを取り除いてください。

こんなときは	調べるところ	処置方法
氷穴が大きく不完全な氷ができたとき	(1) 停電ではありませんか？	通電するのをお待ちください。
	(2) 運転中に電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」「ON（入）」しませんでしたか？	通常の運転中は電源スイッチの「OFF（切）」「ON（入）」はしないでください。
	(3) 運転中にリセットボタンを押しませんでしたか？	運転中はリセットボタンを押さないでください。
	(4) 水道の水圧が低くなっていますか？	水圧が低い場合は、ホシザキ販売会社に連絡してください。
	(5) 周囲温度が35℃以上になっていませんか？	換気扇などで換気して周囲温度を下げてください。 (☞ 11 ページ)
	(6) 外部からの熱気の影響を受けていませんか？	熱源を遠ざけてください。
	(7) 水道の水圧が高すぎませんか？	水圧が高い場合は、ホシザキ販売会社に連絡してください。
その他	(1) 運転中、シューカチッという音がする。	冷媒が流れる音や電気部品が作動する音で、異常ではありません。
	(2) 運転中に、ガタンと音がする。	氷の落下音です。異常ではありません。
	(3) 製氷機本体の外部に露がつく。	これは異常ではありません。 製氷機の内部が冷えているためです。露がついたときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
	(4) 製氷中に水が流れる音がします。	これは給水音であり、異常ではありません。
	(5) 氷が白くにぎるとき	水質によっては白く氷がにぎることがあります。

●上記を確認し、それでも異常があるときは、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

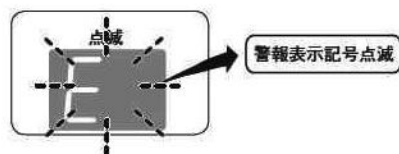
■ エラーメッセージ

「E」が点滅したとき

操作パネル内の運転状況表示部に「E」が点滅したときは、製氷機に異常が起きています。

使用上の注意

- 操作パネルの運転状況表示部は製氷、排水中、停止を示します。
- 機械のトラブル時には、「E」を表示して故障内容を示します。
- 電源（漏電遮断器）を一旦「切」にして再び「入」にすることで一時的に製氷運転が可能になる場合もあります。
頻繁に点滅する場合は製氷機のご使用を中止してください。



異常表示記号	異常内容	故障内容
E1	製氷異常	設定時間内で氷ができていません。
E2	除氷異常	設定時間内で氷が落下しません。
E3	水皿下降異常	水皿が下がっていません。
E4	水皿上昇異常	水皿が上がっていません。
E5	製氷室高温異常	除氷が続いています。
E6	電源反相異常	3 相電源機種配線の逆相接続です。
E7	ファンモーター異常	ファンモーターが回転していません。
E8	ポンプモーター異常	ポンプモーターが回転していません。
E9	凝縮器サーミスター異常	凝縮器サーミスターの短絡、断線です。
EA	EEPROM 異常	マイコンボードの異常です。
EC	製氷サーミスター異常	製氷サーミスターの短絡、断線です。

仕様

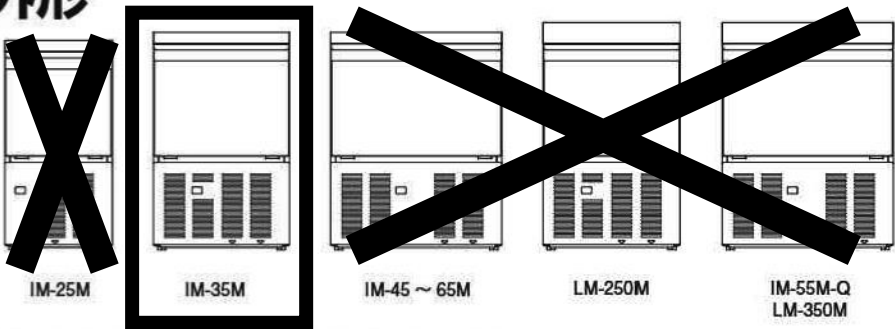
仕様

この製品は、日本国内仕様です。

		IM-25M (25 キロタイプ)	IM-35M (35 キロタイプ)	IM-45M (45 キロタイプ)	IM-55M (55 キロタイプ)	IM-65M (65 キロタイプ)
製氷能力 (日産)	室温20℃、水温15℃ 50/60Hz	約24/26kg/d	約36/38kg/d	約45/47kg/d	約53/58kg/d	約65/69kg/d
	室温30℃、水温25℃ 50/60Hz	約19/22kg/d	約30/33kg/d	約39/44kg/d	約46/51kg/d	約59/69kg/d
1 回 の 製 氷 量		約0.6kg (8個)	約0.68kg (30個)	約0.95kg (42個)	約0.95kg (42個)	約1.35kg (42個)
氷 の 大 き さ		約23 × 28 × 32mm 角氷				
最 大 ス ト ッ ク 量 (自然落下時)		約14 (5) kg	約18 (10.5) kg	約23 (12) kg	約27 (14) kg	約27 (14) kg
電 源 / 容 量		単相100V 50/60Hz				
		0.55kVA (5.5A)	0.50kVA (5.0A)	0.49kVA (4.9A)	0.69kVA (6.9A)	0.71kVA (7.1A)
消 費 電 力 (50/60Hz)		195/220W	220/220W	195/225W	225/285W	310/330W
消費水量	室温20℃、水温15℃ 50/60Hz	約0.05/0.05m ³ /d	約0.08/0.08m ³ /d	約0.10/0.11m ³ /d	約0.12/0.13m ³ /d	約0.14/0.15m ³ /d
	室温30℃、水温25℃ 50/60Hz	約0.04/0.04m ³ /d	約0.07/0.07m ³ /d	約0.09/0.10m ³ /d	約0.10/0.11m ³ /d	約0.12/0.13m ³ /d
安 全 装 置		漏電遮断器(過電流保護付)、アース線				
外 装		ステンレス鋼板				
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		45 × 450 × 770mm	50 × 450 × 800mm	630 × 450 × 800mm	630 × 525 × 800mm	630 × 525 × 800mm
製 品 質 量		34kg	40kg	48kg	52kg	52kg

		IM-55M-Q (55 キロタイプ)	LM-250M (35 キロタイプ)	LM-350M (55 キロタイプ)
製氷能力 (日産)	室温20℃、水温15℃ 50/60Hz	約23/24kg/d	約26/28kg/d	約31/34kg/d
	室温30℃、水温25℃ 50/60Hz	約23/24kg/d	約22/24kg/d	約27/31kg/d
1 回 の 製 氷 量		約0.67kg (15個)	約1.0kg (9個)	約1.44kg (12個)
氷 の 大 き さ		約φ45 球形状	約48 × 58mm 角氷	約48 × 58mm 角氷
最 大 ス ト ッ ク 量 (自然落下時)		約17 (9) kg	約17 (9) kg	約17 (8) kg
電 源 / 容 量		単相100V 50/60Hz		
		0.71kVA (7.1A)	0.71kVA (7.1A)	0.71kVA (7.1A)
消 費 電 力 (50/60Hz)		320/330W	320/320W	300/320W
消費水量	室温20℃、水温15℃ 50/60Hz	約0.90/0.96m ³ /d	約0.14/0.15m ³ /d	約0.18/0.19m ³ /d
	室温30℃、水温25℃ 50/60Hz	約0.48/0.51m ³ /d	約0.12/0.13m ³ /d	約0.15/0.16m ³ /d
安 全 装 置		漏電遮断器(過電流保護付)、アース線		
外 装		ステンレス鋼板		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		630 × 450 × 850mm	395 × 450 × 850mm	630 × 525 × 850mm
製 品 質 量		57kg	43kg	53kg

外形



知
っ
て
お
い
て
く
だ
さ
い

仕
様
修
理
を
依
頼
さ
れ
る
前
に

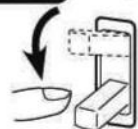
お手入れガイド

■全自動製氷機

●氷を取り出す場合は、清潔な手で専用スコップを使って取り出してください。

お願い

1



OFF(切)
電源を切って
行ってください。

2



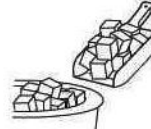
清潔な手で
行ってください。

3



清潔なふきんを
使用してください。

4



氷は清潔な別の容
器に移して行って
ください。

ステンレスのお手入れ

ステンレスでも適切な手入れをしないとサビることがあります。日常のお手入れは、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。ひどい汚れは、食器用中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分を残さないでください。汚れがひどいときは都度行ってください。

- 逆性石けん（塩化ベンザルコニウム）10%液を、ぬるま湯（35～40℃）1Lに、キャップ2杯（約10mL）の割合で混ぜ、乾いたふきんなどにふくませて、隅々までふき込み、3分後に石けん分が残らないように水またはぬるま湯を含ませたふきんで拭き取ってください。
- 次亜塩素酸ソーダ（食品添加物用）を加えたぬるま湯（35～40℃）に3分以上漬け込み、その後、ソーダ分が残らないように水道水で洗い流してふきんでふき取ってください。ただし、汚れているときは中性洗剤で洗い、水道水ですすいでから行ってください。

IM-25M,35M,45M,55M,65M,55M-Q,LM-250M,350M

毎日

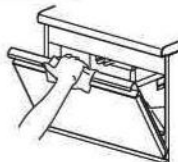
POINT 1 スコップ

次亜塩素酸ソーダ

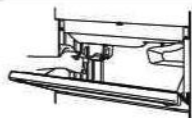


POINT 2 扉、とって

逆性石けん

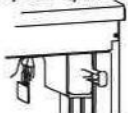


POINT 3 ストッカー、マット (LM-250M,350M)



POINT 4 スコップホルダー

(IM-45M,55M,65M,55M-Q,LM-350M)



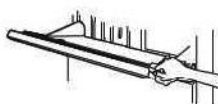
POINT 5 スロープ



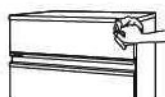
1週間
に1回

逆性石けん

POINT 6 扉裏板・ドアパッキン

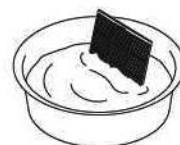


POINT 7 外装



1ヶ月に1～2回

POINT 8 エアフィルター



- * 汚れのひどいときは都度行ってください。
- * 洗剤の使用法は、洗剤に添付してある取扱説明を確認してください。
- * このページはコピーし、製品の近くなどに貼り付けるなどして、必要なときにご利用ください。

据付工事説明書

⚠ 警告



据付工事は専門業者がこの据付工事説明書に従って実施すること

専門業者 据付工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認し、取扱説明書に従ってお客様に使用方法お手入れのしかたを説明してください。

も く じ

開梱・設置	32
■ 固定テープの除去	
■ 保護シートの除去	
■ 点検	
■ 運搬	
■ 設置場所	
■ 設置のしかた	
■ 転倒防止措置	
電気工事	36
■ アース線の接続	
■ 電源ラインの接続	
配管工事	37
■ 給水工事のしかた	
■ 排水工事のしかた	
■ 給排水配管例	
■ 配管工事終了の確認	
試運転	39
■ 運転動作確認	

据付工事説明書（販売・工事会社用）

開梱・設置

⚠ 警告



開梱は、床が丈夫で平らなところで行うこと
専門業者 不安定なところでは、製品転倒によるケガの原因になります。



注意

梱包用ビニール袋は、子供の手の届かないところに保管または廃却すること
子供が梱包用ビニール袋をかぶって、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意



禁止

梱包用バンドを持って荷扱いしないこと
バンドが切れ、ケガをしたり、製品が破損する原因になります。



運搬

製品は、二人以上で開梱すること
ケガの原因になります。

使用上の注意

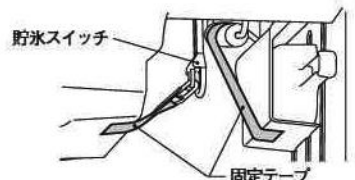
- 製品を 45° 以上傾けないでください。故障の原因になります。

1 梱包用バンドを外して、箱の上部を開きます。

2 製品を取り出して梱包用ビニールを外します。
●梱包用ビニール袋は保管または廃却してください。

■ 固定テープの除去

外装や庫内に貼ってある固定テープをはがしてください。
ストッカー内にある貯氷スイッチや部品を固定しているテープを外してください。



■ 保護シートの除去

外装に貼ってある保護シートをはがしてください。そのままにしておくと、はがれなくなります。
直射日光にあてたときは、冷えてからはがしてください。

お知らせ

- ラベル類ははがさないでください。

■ 点検

- 1 外装などの外周りや、内装部品に傷や破損がないことを点検します。
- 2 取扱説明書の「付属品」を見て、不足部品、傷、破損がないことを点検します。（ 10 ページ）

お知らせ

- 点検の結果、不足部品、傷、破損があれば、ホシザキ販売会社に連絡してください。

■ 運搬

⚠ 警告



専門業者

搬入作業は専門の重量物運搬業者が実施すること

搬入作業は、現地の状況により方法が異なります。専門の重量物運搬業者にご相談ください。
専門の重量物運搬業者以外が搬入すると、思わぬことが起こり、ケガや製品の破損の原因になります。

⚠ 注意



注意

製品の移動や取り扱いに注意すること

重量が重いため、不用意に移動させるとケガの原因になります。



禁止

製品を移動するときは、天板・扉を持たないこと

天板・扉が外れ、製品落下によるケガの原因になります。



運搬

製品は、二人以上で開梱すること

ケガの原因になります。



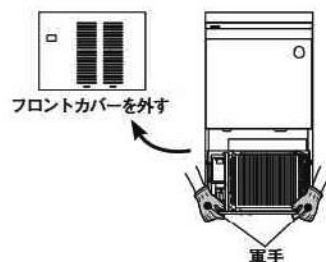
運搬

製品を移動するときは、軍手をして本体底面を持つて行うこと

ケガの原因になります。

使用上の注意

- 製品を移動するときはフロントカバーを外して、本体底面を持って行ってください。
- 製品を 45° 以上傾けないでください。故障の原因になります。



■ 設置場所

⚠ 警告



屋外に据え付けないこと
雨水のかかる場所で据え付けると、漏電、感電の原因になります。



据え付けは、製品質量に十分に耐える場所に行うこと
強度確認 強度不足の場所に設置すると、床の陥没などにより、ケガをしたり、建物に被害を与える原因になります。



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
湿気禁止 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



火気の近くに据え付けないこと
禁止 熱でプラスチックが溶けたりして、火災の原因になります。



可燃ガスの漏れる恐れがある場所に据え付けないこと
禁止 ガスが漏れ、製品の周囲に溜まると、発火、爆発の原因になります。



床がぬれてもよい所に据え付けること
設置場所 湿度が高いときは、外装に付着した露が滴下し、床をぬらす原因になります。

⚠ 注意



床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
水平設置 水漏れ、転倒、落下によるケガの原因、および本体に歪みが発生し扉が閉まらないなどの不具合の原因になります。



凍結の恐れがある場所へは据え付けないこと
禁止 周囲温度が0℃以下になり、凍結の恐れがあるときは、必ず水抜きをしてください。給水管の破損から水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になります。

使用上の注意

- 風通しのよい所に吸込み口や吹出し口をふさがないように据え付けてください。
冷却性能の低下や故障の原因になります。

お知らせ

- 床がぬれても支障のない所に据え付けてください。
湿度が高いときは、外装に付着した露が滴下し、床をぬらす原因になります。

設置条件

- 使用範囲は、周囲温度 1 ～ 35℃です。
- 本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがあるため、10mm 程度余裕をとってください。
(給排気スペース・配管スペースなどは本体設置スペースとは別に確保が必要です。)
- やむをえず直射日光のあたる場所に設置するときは、必ず日除けを付けてください。

■ 設置のしかた

⚠ 注意



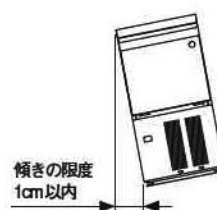
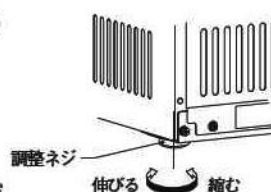
レッグの高さは、90 ～ 120mmの範囲で調節すること

120mmを超えると、脚の強度がわるくなります。また、アジャスト部が外れることがあり、思わぬケガの原因になります。

- 調節ボルトが本体底面に取り付けてあります。水平になるように調節してください。
- アジャスト部を回し、高さを調節してください。

使用上の注意

- 据え付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下によるケガの原因になります。



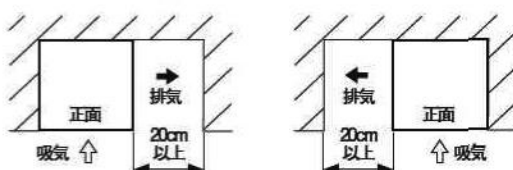
製品周囲のすき間

壁や物と製品とのすき間は、下図のようにします。

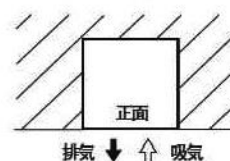
使用上の注意

- すき間がないと製氷能力が低下し、電気代のむだにもなります。またアフターサービスが困難になります。
- 2面密着設置のみ可能です。(IM-25M)
- 2面密着設置、3面密着設置可能です。(＊3面密着設置の場合、製氷能力がわずかに低下します)
(IM-35M,45M,55M,65M,55M-Q,LM-250M,350M)

<2面密着設置の場合>



<3面密着設置の場合>



■ 転倒防止措置

転倒防止対策として、壁または床面に本体、アジャスト脚を固定してください。
お客様とご相談のうえ、設置場所に応じた転倒防止措置を行ってください。
固定のしかたについては、ホシザキ販売会社にご相談ください。

電気工事

警告

！ 電気工事は「電気設備に関する技術基準」
「内線規定」およびこの据付工事説明書
に従って施工し、必ず専用回路（過負荷・
短絡保護あり）を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、
感電、火災の原因になります。

！ 電気工事を始める前に、元電源を切ること
元電源切 切った元電源には、この先で仕事をしているので電源
を入れるな、という意味の標識を取り付けてください。
感電の原因になります。

禁止 電源コードを傷つけないこと
電源コードが破損すると、感電、火災の原因になります。

ぬれ手 禁止 ぬれた手で電気部品に触れないこと
感電の原因になります。

注意

！ 電源電圧は定格電圧の 90 ~ 110% の範囲内とすること
この範囲以外では発煙、発火、機械の故障や能力低下を招く原因になることがあります。

電圧

■アース線の接続

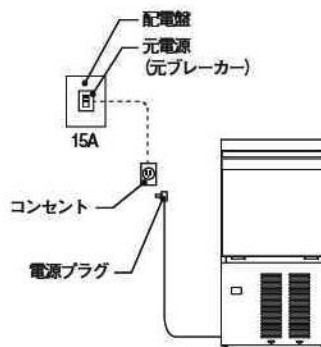
警告

！ アース工事を行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アース 電気工事業者による口種接地工事が必要です。（アースが不完全な場合は、感電の原因になります。）
工事

本製品には緑／黄色のアース線が取り付けられています。
アース線はコンセントのアース端子に確実に取り付けてください。

■電源ラインの接続

元電源（元ブレーカー）およびコンセントの容量は、取扱説明
書の「仕様（電源容量）」に従ってください。
（☞ 29 ページ）



配管工事

⚠ 注意



凍結の恐れがある場所へは据え付けないこと

配管の破裂から水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になります。

禁止

配管材

給水配管は、地域の水道法の基準に適合しているフレキシブル管、硬質塩化ビニール管、硬質塩化ビニールライニング鋼管などをお使いください。

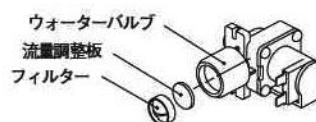
排水管は硬質塩化ビニール管などをお使いください。

配管類の洗浄

配管類は、接続する前に十分洗浄してください。

配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これらが混入すると、フィルターや製品内部のウォーターバルブが詰まることがあります。

ウォーターバルブのフィルターを外す場合、流量調整板が外れ易くなりますのでご注意ください。



配管接着部

配管類は、シール材、シール用テープなどを使用して、水濡れがないように接続してください。

シール材は、配管が詰まったり、水ににおいが付くようなものは使用しないでください。

■ 給水工事のしかた

給水管について

- 給水元には必ず止水・保守用の元栓と給水バルブを取り付けてください。
- 給水配管の最下部に、水抜きのための水抜きバルブを取り付けてください。
- 管路の途中でエアポケットができないように配管してください。

使用水

⚠ 注意



製氷に使用する水は、必ず水道水を使用すること

水道水以外を使用すると、健康障害の原因になります。

水道水

使用上の注意

- 給水圧が 0.05 ～ 0.78MPa の範囲内で使用してください。
- 給水圧が 0.78MPa を超える場合には、氷穴が大きく不完全な氷ができたり、給水しないことがあります。この場合は減圧弁を取り付けてください。
- 水道水を使用している場合でも、水質によっては製品内水経路にスケールが付着して製氷量が少なくなったり、故障の原因になります。
水質の目安としては、「硬度：50mg/L、シリカ：30mg/L」以下の水道水を使用してください。
上記目安値を超える場合は、水質に適した水処理器の取り付けが必要となります。水処理専門業者又はホシザキ販売会社に相談してください。

■ 排水工事のしかた

使用上の注意

- 複数の製品が設置されている場合、排水管は各々の製品から単独で配管してください。排水管を集中させると、排水の逆流により、製品から水漏れしたり、製品故障の原因になります。

お知らせ

- 排水管は、できるだけ短く、曲がり角が少なく、下げ勾配を持たせ、途中で排水口より高い部分ができないようにしてください。
- 逆流を防ぐため、排水管は間接排水とし下水管に直結しないでください。必ず、排水管先端と排水溝の間に 5cm 以上あけてください。
- 直接床に排水してから排水溝に流し込むことは、絶対に避けてください。床のゴミなどを巻き込んで排水溝を詰まらせたり、思わぬ方向へ流れる原因になります。
- 排水配管は、十分な排水能力を確保してください。部品が故障した場合は、連続的に排水することがあります。十分な排水能力がない場合には、水が床に漏れ、周囲（家財など）をぬらす原因になります。

■ 給排水配管例

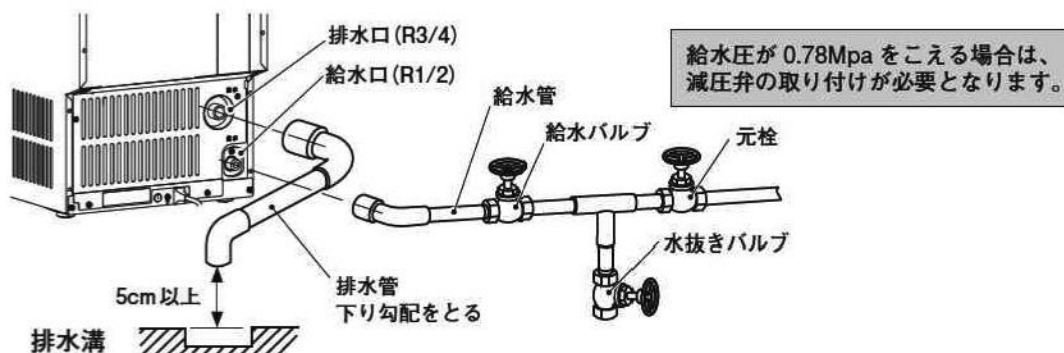
下図のような配管で行ってください。

使用上の注意

- 水抜きバルブは製氷機と給水バルブの間の最も低い位置で、製氷機本体底面より下の位置になる所に下向きに取り付けてください。

お知らせ

- 給排水工事を確実に行ってください。水漏れから周囲（家財など）をぬらす原因になります。配管類は、すべて現地手配になります。
- 各バルブは操作しやすい位置に取り付けてください。



■ 配管工事終了の確認

水抜きバルブを閉じた後、元栓と給水バルブを開け、配管接続部からの水漏れがないことを確認してください。「給排水管の点検」を参照してください。(P.22 ページ)

試運転

■ 運転動作確認

据付工事終了後、次の運転動作確認を行ってください。

- 1 電源・電圧を確認します。
※単相 100V の専用コンセントを使用していますか？
- 2 アース線を接続します。
※アース線は確実に接続されていますか？
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※電源プラグは確実に差し込まれていますか？
- 4 水抜きバルブを閉め、元栓と給水バルブを開きます。
※給水されていますか？
※給水配管、排水配管の水漏れはありませんか？
- 5 電源スイッチを「ON (入)」にして運転を確認します。
※ 3 分後に運転が開始されましたか？
- 6 しばらく待ってから (約 20 ～ 30 分) 氷の出来を確認します。
※氷がストッカーへ落下しましたか？
※異常音はありませんか？
※氷の出来は正常ですか？
- 7 操作説明をします。
※お客様に取り扱い説明をしましたか？
- 8 試運転時の氷を捨て、ストッカー内の掃除をします。
※ストッカー内は掃除しましたか？
- 9 取扱説明書をお客様に渡します。
※取扱説明書をお客様に渡しましたか？

● お買い求めの際に必ずご記入ください。

形 名			
お買い求め年月日	年	月	日
お買い求め店名			
	電話 ()	—	

● ご相談窓口のご案内

お買い上げの商品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

ホシザキ北海道株式会社	☎ (011) 841-4433	札幌市白石区菊水1条4-1-8
ホシザキ東北株式会社	☎ (022) 728-9511	仙台市青葉区昭和町2-38
ホシザキ北関東株式会社	☎ (048) 660-2311	さいたま市北区宮原町3-36
ホシザキ関東株式会社	☎ (03) 3943-6201	東京都文京区白山4-37-33
ホシザキ東京株式会社	☎ (03) 5791-8001	東京都港区高輪2-20-32 ホシザキ高輪ビル
ホシザキ湘南株式会社	☎ (045) 650-6121	横浜市中区桜木町 2-2-5
ホシザキ北信越株式会社	☎ (076) 240-2266	金沢市松島2-26
ホシザキ東海株式会社	☎ (052) 563-5581	名古屋市中村区名駅5-21-3
ホシザキ京阪株式会社	☎ (06) 6762-5351	大阪市中央区内本町2-2-12 ホシザキ本町ビル
ホシザキ阪神株式会社	☎ (06) 6886-5691	大阪市淀川区木川東3-1-34
ホシザキ中国株式会社	☎ (082) 293-9451	広島市中区土橋町1-13
ホシザキ四国株式会社	☎ (087) 811-5610	高松市紺屋町3-3
ホシザキ北九株式会社	☎ (092) 471-7396	福岡市博多区博多駅南3-18-9
ホシザキ南九株式会社	☎ (099) 813-0007	鹿児島市下荒田4-41-11
ホシザキ沖縄株式会社	☎ (098) 861-1240	那覇市泊3-3-13
ホシザキ電機株式会社 サービスセンター	☎ (0562) 97-2126	豊明市栄町南館3-16

1207

ホシザキ電機株式会社

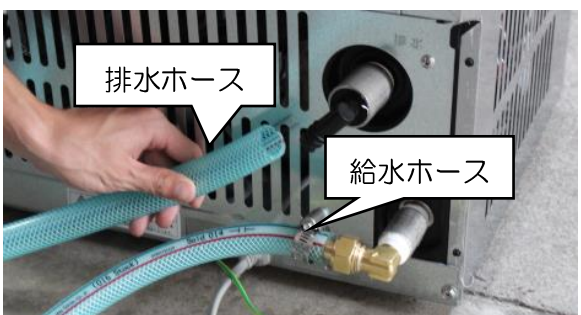
本 社 / 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 ☎ (0562) 97-2111

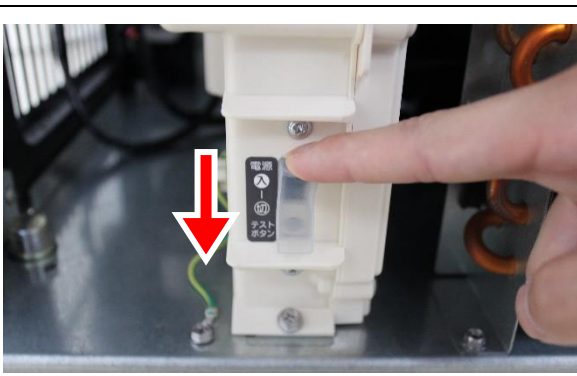
返却時の注意点

返却前に給排水口の水抜きを行ってください。水抜きを行わず製氷機が故障してしまった場合、修理代をいただきます。

返却時の梱包方法

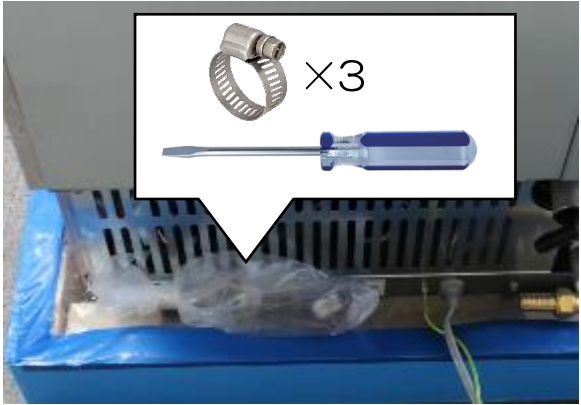
給水口の水抜き

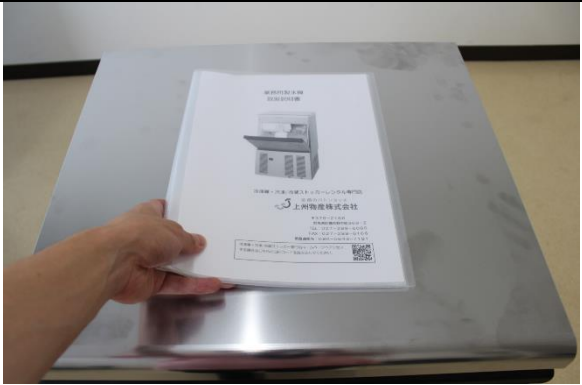
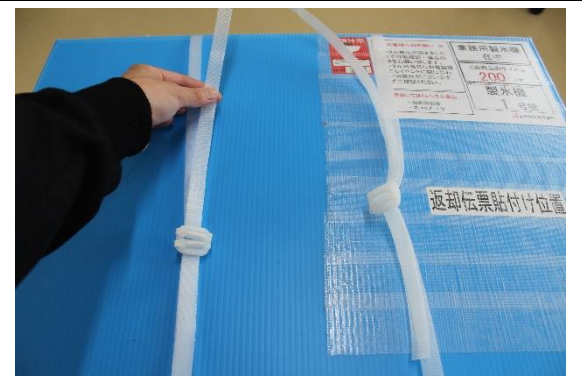
7		・庫内を空にしてください。 ※水や氷が入ったまま返却されますと、配送中に漏れた水で、他のお荷物を濡らしてしまう原因になります。配送中に他のお荷物に損害があった場合、お客様に弁償していただく場合がございます。
8		・スコップを製氷機庫内にしまってください。
9		・給水ホース、排水ホースを製氷機から取り外してください。
10	 	・足踏みポンプの先端を給水口に差し込んでください。

11		・フロントカバーを外してください。 ※フロントカバーの取り外しについては メーカー取扱説明書 13 ページをご覧ください。
12		・リセットボタンを押してください。
13		・庫内を空けて、製氷部を横から覗き込んで下さい。 画像のように製氷皿が下がってくるはずで す。
14		・製氷皿が一番下まで下がったタイミングで電源を切ってください。 ※製氷皿が一番下まで下がった時に、給水管、 排水管ともに開いた状態になるからです。
15		・足踏みポンプで約 1 分間、給水口から 空気を送り込んでください。 ※この際、足踏みポンプの先端を給水口 に差し込み続けてください。(工程 4 参 照)

16		・電源プラグを抜いてください。
17		・フロントカバーを取り付けてください。
排水口の水抜き		
18		・庫内を斜めにして排水口内の水をだしてください。 ※水や氷が入ったまま返却されますと、配送中に漏れた水で、他のお荷物を濡らしてしまう原因になります。 ※配送中に他お荷物に損害があった場合、お客様に弁償していただく場合がございます。
19		・水が出てこなくなったら元に戻してください。

製氷機を箱に梱包する

20		・地面にPPバンドを2本ひき、その上に下箱をのせてください。
21		・製氷機を下箱にいれてください。 ※左の画像のように製氷機本体の正面と下箱の正面シールをあわせてください。
22		・マイナスドライバー、ホースバンド×3をビニール袋等に入れ、下箱の隙間に入れてください。 ※マイナスドライバー、ホースバンドを庫内に入れると庫内が傷ついてしまうので、やめてください。 - マイナスドライバー、ホースバンドを庫内に入れて庫内が傷ついたり破損した場合、修理代をいただきます。
23		・エアーポンプを庫内に入れてください。

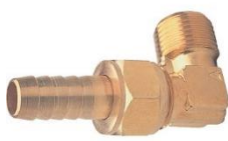
24		・製氷機の上部に取扱説明書を置いてください。
25		・梱包箱の上箱を製氷機本体にかぶせてください。
26		・PPバンドでとめてください。 ※PPバンドのとめ方は取扱説明書の最終ページにある「梱包時PPバンドの使用法」をご確認ください。
27	<p>▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。</p> <div data-bbox="231 1574 924 1738" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>お届け時の伝票の下にある赤い伝票が 返却用の伝票です。</p> </div> <div data-bbox="930 1507 1370 1747" data-kind="parent" data-rs="2">  </div>	

据付工事を水道会社に依頼した場合の返却方法 (フレキ管、塩化ビ管等で接続した場合)

事前に水道会社に撤去工事のご依頼をお願いします。その際には製氷機の水抜き依頼も一緒に行ってください。

水抜きの方法につきましては、メーカー取扱説明書の 17 ページに記載しておりますのでご依頼された水道会社に水抜きの方法をお見せし、水抜きをご依頼してください。

ニップル&ソケットを取り外した場合は、箱に入れて返却してください。



ニップル



ソケット

梱包時 PP バンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1 本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。